

出資金ふやし頑張ろう!

あかるいまち21

No.906号 2016年4月18日 組織部 TEL082-532-1264

	4月累計	2015年度累計
組合員ふやし	41人	1,376人
出資金ふやし	261万円	1億5,394万円
純増	▲305万円	4,684万円

生協では、熊本地震で被災された方のいのちとくらし、現地の復旧・復興活動を支援するための緊急募金を呼びかけています。募金箱は、生協の事業所や組織部に設置しております。

己斐上支部 介護保険学習会 その①

4月2日(土)、己斐上支部・介護学習班主催で学習会が14名の参加で行われました。講師は、己斐・己斐上地域包括支援センター職員2名の方に依頼しました。介護学習班とは、この4月に新たに発足した班で、年に数回、介護に関する学習会を開こうと支部運営委員会で決まりました。



学習会では、①頭ほぐし(間違いさがし)②包括支援センターとはどんなところ?③己斐・己斐上地区の現状について④介護保険制度について学んでいきました。

包括支援センターとは、広島市に41か所、中学校区単位で設置されており、1つのセンターに、主任ケアマネ・保健師(または経験のある看護師)・社会福祉士を各1名ずつの配置が必須で、合計4名以上の職員が働いています。そして「高齢者(65歳以上)が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援をする」ことを行っているところです。

また、己斐・己斐上地域は30%の方が高齢者で、街中で一番高齢化率が高いそうです。山の上にある地域なので、交通手段を持たない高齢者は閉じこもりになりやすく大変危険なのだとか。閉じこもりになると虚弱リスクも高まりますが、今のところは広島市の平均よりは低いようでした。山の上にあるということは一見、悪条件に見えますが、坂が多いおかげで?運動器リスクを抱えた人の割合は広島市の平均以下でした。みなさん、坂には慣れっこなのかもしれません!



最後の説明は介護保険制度について。現在広島市が今後の方針を示していないため、広島市の保険制度がどう変わっていくのかは包括職員の皆さんもまだわからないそうですが、現行制度の説明や、介護認定の受け方等を細かく噛み砕いて説明して頂きました。参加者の皆さんからは、「己斐の実情が分かってよかった。現在は介護について困っていないが、先が不安…」「認定申請の仕方など、すごくよくわかった。いずれ義母が使うかも…」という声がありました。会の最後は、脳いきいき班による頭の体操ゲームなども行いました(^o^)

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合

